

一般財団法人ジャパンコーチズアソシエーション (JCA) 青山学院大学地球社会共生学部教授兼陸上競技部長距離ブロック監督 原晋教授と ギフティングサービスの実証実験を開始



JCA 代表理事 二之湯武史



青山学院大学 原晋教授

株式会社ドームが協賛する一般財団法人ジャパンコーチズアソシエーション (JCA、所在地：東京都江東区、代表理事：二之湯武史) は「日本のスポーツ界における新しい価値創造」を目的として、ギフティングサービスの事業化に向け、未来のスポーツビジネスの可能性を研究している青山学院大学地球社会共生学部教授兼陸上競技部長距離ブロック監督の原晋氏とともに、実証実験に取り組みます。

スポーツがもたらす感動を、そのままマネタイズする仕組みを通じて、財務基盤が脆弱な学生スポーツやマイナースポーツに資金を回すことで日本のスポーツ界の変革を促す JCA の試みに、原教授にご賛同いただいたものです。

ギフティングサービスの実証実験に取り組むサイトの URL は以下となります。

<https://engate.jp/communities/aogaku-tf>

*ギフティングサービス

- ・チームや選手肖像を掲載するウェブサイトにて、そのチームや選手を応援したいファンや OB が、事前に購入したポイントを贈ることで、ポイントに見合った金額が寄付される仕組み
- ・今回の実証実験では、エンゲート株式会社 (所在地：東京都渋谷区、代表取締役：城戸幸一郎、URL：<https://engate.jp/>) のプラットフォームを活用する

JCA 代表理事の二之湯武史のコメントは、以下の通りです。

「スポーツには、人に感動と勇気を与える大きな力があります。そして、その力はプロ、アマ、学生を問わず変わりません。今年行われたラグビーワールドカップでも、それは証明されました。しかし、全てのスポーツにおいて経済の好循環が生まれているとは言えません。好循環がなければアスリートファーストの環境が作れず、持続性も確保できないのです。特に、学生スポーツは感動の大きさとその対価があまりにも見合いません。だからと言って学生スポーツをビジネスにするわけではありません。学生がスポーツに打ち込める最低限の環境を作るため、多くの人々から薄く広く感動に対する対価を頂く仕組みを提案したいのです。それがわれわれ JCA の提供する『スポーツギフティング』なのです」

一般財団法人ジャパンコーチズアソシエーション

2016年2月設立。スポーツ指導者が抱えるさまざまな問題をともに解決し、スポーツの健全な発展とよりよい社会づくりに寄与することを目的として日本のスポーツ指導者の地位向上を目指している。

<https://www.coaches-association.jp/>

株式会社ドーム

1996年創業。テーピングの取扱いからスタートし、「社会価値の創造」というビジョン、「スポーツを通じて社会を豊かにする」という理念のもと、スポーツプロダクト（アンダーアーマー）やスポーツサプリメント（DNS）、パフォーマンスディレクション（ドームアスリートハウス）などの事業を展開している。



*お問い合わせ先

一般財団法人ジャパンコーチズアソシエーション 戸恒

TEL:03-6757-6600 MAIL : contact@coaches-association.jp

